

令和3年度東京都立西高等学校学校経営報告

自己評価の基準：【A】十分に達成できた【B】概ね達成できた【C】あまり達成できなかった

今年度の教育活動への取組と重点目標	自己評価
<p>1 「授業で勝負」の理念のもと、日常の授業を改善するとともに、生徒の主体的な学習意欲の向上を図る。</p> <p>《方策》</p> <p>①日々の授業を通して、授業を第一に考える生徒を育成する。</p> <p>②「学習の手引き」に基づき、計画的で主体的な学習態度を育成する。</p> <p>③教科マネジメントの確立、研修の充実等により、教科指導力の向上を図る。</p> <p>《重点目標》</p> <p>○生徒による授業評価アンケート結果により「学習の手引き」の活用指導とその検証</p> <p>○自学自習態度の育成</p> <p>○授業改善に向けての校内研修会の工夫・改善</p> <p>○土曜講座の充実</p>	<p>[数値目標1] 生徒の「学習への取り組みの自己評価」の向上 (目標50%)</p> <p>→【B】「学習への取組」に関する学校評価アンケートで、生徒の肯定的な回答者の割合は73%で、昨年度より1%微増した。また、保護者については、肯定的な回答者の割合が昨年度の82%から78%、教員については昨年の96%から94%に減少したが、3年生の肯定的な回答者の割合は、89.5%と昨年度より13%以上増加した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1年を通じて時差通学など不安定な状況ではあったが、学習に主体的に取り組む生徒の態度の育成に取り組むことができた。</p> <p>[数値目標2] 1・2年生の自宅学習時間2時間以上</p> <p>→【B】1年生の自宅学習時間は平均で2.18時間であり、昨年度の1.81時間と比較して上昇した。2年生は平均で2.16時間であり、昨年度の1.9時間と比較して上昇した。時差通学が続く中でも授業時間の確保に努め、オンライン学習や課題の出し方の工夫を含めて、生徒の学習時間の確保に努めた。</p> <p>[数値目標3] 生徒の授業満足度の維持</p> <p>→【A】「満足できる授業」に関する学校評価アンケートで、生徒の肯定的な回答者の割合は昨年度と同様に91%であった。教員の肯定的な回答者の割合は91%で、昨年度より微増した。教員は、ICT活用技術が向上しただけでなく、対面授業とオンライン授業のそれぞれの良さを生かした授業展開に取り組んだ。</p>
<p>2 学習環境の整備と生活規律の向上</p> <p>《方策》</p> <p>自覚を促す指導を通して、</p> <p>①感染拡大防止対策の徹底</p> <p>②校内美化の徹底</p> <p>②生徒の自己管理能力の育成</p> <p>《重点目標》</p> <p>○感染拡大防止対策の徹底</p> <p>○生徒の美化意識向上</p> <p>○自分の物と時間の自己管理を徹底</p>	<p>[数値目標4] 校内美化に関する学校評価(目標65%以上)</p> <p>→【B】「校内美化の取組」に関する学校評価アンケートで、生徒の肯定的な回答者数の割合は53.6%で、昨年度の59%と比較して5%減少した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度も教室のゴミ箱は撤去し、自分のゴミは持ち帰る指導を徹底し、生徒の清掃やゴミの分別などの美化意識の向上を図った。トイレの洋式化などの施設改修を含めて、計画的に学習環境の整備に取り組んでいく。</p> <p>[数値目標5] 遅刻者数 月1桁/学級</p> <p>→【B】学年での指導や遅刻指導月間の実施により、今年度も遅刻者は減少傾向にある。</p> <p>[数値目標6] 遺失物等を減少</p> <p>→【B】生徒の貴重品や私物の管理は、生徒部や学年の指導を通じて改善に努めているが、今後も、ロッカー施錠の励行など、私物管理の徹底などの指導を継続していく。</p>

<p>3 教育公務員としての高い使命感・倫理観をもち、服務規律を遵守するとともに、協働意識を向上させ、ライフ・ワーク・バランスを図る。</p> <p>《方策》</p> <p>①服務規律を徹底する。 ②情報資産の厳密な管理。 ③情報の共有化と会議の効率化を心がける。 ④分掌・教科等を越えた協働体制を整える。</p> <p>《重点目標》</p> <p>○情報資産の管理体制の遵守 ○計画的な仕事の進め方により、分掌や学年が連携して業務の効率化を図る</p>	<p>[数値目標7]服務事故防止研修の実施 →【A】4月、7月、12月の3回、悉皆の校内研修を実施した。本校の実態に応じた研修内容の充実を図っていく。</p> <p>[数値目標8]服務事故や服務上の課題ゼロの継続 →【A】企画調整会議や職員会議、教職員一斉メール等を活用し、服務事故防止を徹底した。特に、個人情報管理(クリーンデスク、定期考査における答案の紛失防止)、私費会計(部費)の適正な処理、体罰や不適切な指導の禁止(生徒及び教職員にアンケートと聞き取りを実施)、入学者選抜における採点誤り防止に重点的に取り組んだ。事故のない職場を実現するため、今後も努力を重ねていく。</p> <p>[数値目標9]在校時間が80時間/月を超える教員ゼロ →【C】月当たりで80時間超となった教員は、今年度も平均で5名となった。教材の共有化などによる効率的な授業準備、部活動指導員活用などで負担軽減、業務分担の見直しなどで、在校時間の適正化に取り組んでいく。</p>
<p>4 教育改革の動向を見据えた指導体制、内容の見直し</p> <p>《方策》</p> <p>①大学入試改革に対応した指導体制の見直し ②新学習指導要領を踏まえた指導内容・方法の改善・充実</p> <p>《重点目標》</p> <p>○探究学習の着実な実施に向け、Wi-Fi 環境による学習クラウドなどの活用 ○教育課程、指導内容・方法の見直し</p>	<p>[数値目標 10]将来構想委員会等での検討 →【B】令和4年度からの新教育課程における観点別評価方法の策定を行った。また、観点別評価に対応した年間授業計画に改訂した。さらに、1・2学年の「総合的な探究の時間」を推進し、探究発表会で成果発表を行った。</p> <p>[数値目標 11]全教職員の共通理解を図るための校内研修等の充実 →【B】年間10回の校内研修会を実施して、授業力向上や新教育課程、模試結果などの情報共有を図った。</p>
<p>5 本校の教育に理解と共感を抱く保護者、生徒の拡大を図り、挑戦意欲旺盛な生徒の獲得を目指す。</p> <p>《方策》</p> <p>①全校体制で広報活動を実践する。 ②委員会を中心に、効率的・効果的な広報活動を実践する。</p>	<p>[数値目標 12]本校への入学希望者の維持 (目標:推薦倍率3.50倍、一次倍率1.75倍) →【B】推薦に基づく選抜の応募倍率は、男女計3.81倍であった。学力検査に基づく選抜の応募倍率は男女計1.74倍であった。昨年度と比較して、推薦選抜は0.14ポイントの減となったが、学力検査は0.13ポイントの増であった。 感染拡大防止対策を徹底し、夏季学校見学会なども工夫して実施し、本校の教育活動全般を理解してもらえるように努めた。</p>

<p>《重点目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○本校への入学希望者の拡大 ○学校説明会の時期・形態の見直し ○効率的な広報活動の開発 	<p>[数値目標 13]ホームページ更新回数の維持(目標370回)</p> <p>→【A】ホームページの更新は、のべ170回の更新となったが、新方式による都推奨のホームページにリニューアルし、内容の充実を図った。教育活動の動きを刻々と情報発信した。</p> <p>[数値目標 14]外部での学校説明会の継続実施</p> <p>→【A】校長が「学習塾等主催説明会」に15回参加した。また、会場とオンラインとを同時開催した「都立学校等合同説明会」に参加した。コロナ禍で様々な制限はあったが、入試問題説明会など、広報委員会を中核に可能な限りで積極的な広報活動を展開した。</p>
<p>6 キャリア教育や国際交流事業の推進等を通して、変化する社会の中で次代を担う人材の育成を図る。</p> <p>《方策》</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 3年間を見通した系統的なキャリア教育の実践の推進、PTAや同窓会と連携したキャリア教育関連事業の充実を図る。 ② 国際交流事業の体系化と教科等の学習活動との関連の明確化を図る。 <p>《重点目標》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職業的自立意識の醸成 ○国際理解の深化と国際協調の精神の涵養 ○グローバルリーダー育成に向けての施策の充実 ○姉妹校交流の推進 ○オリ・バラ教育の充実 	<p>[数値目標 15]訪問講義の充実</p> <p>→【B】4回の訪問講義を計画したが、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2回しか実施できなかった。しかし、西高会(同窓会、PTA、教員)の教育支援事業委員会で、生徒の興味関心を高めるテーマ選択、講師選定を行い、感染症予防対策を徹底し、のべ154名の参加者を集めることができた。</p> <p>[数値目標 16]ジョブシャドウの拡大</p> <p>→【B】新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、昨年度は実施できなかったが、今年度は10名の生徒が卒業生の勤務する病院での医療体験に参加した。</p> <p>[数値目標 17]国際交流事業の充実</p> <p>→【B】新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止となったが、今後も同プログラムを継続していく。</p> <p>[数値目標 18]留学、海外研修等参加生徒の維持</p> <p>→【B】新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、「アメリカ研修」や「スタンフォード大学研修プログラム」は中止となった。インドネシア姉妹校交流はオンラインで交流を図り、「エンパワーメントプログラム」を3月末に実施した。安全確保を図りながら、今後も留学・海外研修を継続していく。</p> <p>[数値目標 19]リーダーシッププログラムの充実</p> <p>→【B】新型コロナウイルス感染症防止の観点から中止となったが、今後も同プログラムを継続していく。</p> <p>[数値目標 20]姉妹校交流の推進</p> <p>→【B】新型コロナウイルス感染症防止の観点からオンラインでの交流となったが、今後も同プログラムを工夫しながら継続していく。</p>

<p>7 考査や模擬試験等を通して「学習の手引き」の検証と改善を行うとともに、教科としての学習支援体制の一層の充実を図る。また、教科資料の共有化を図る。</p> <p>《方策》</p> <p>①各種試験を調査分析する。</p> <p>②その分析に基づく教科としての学習支援体制の充実を図る。</p> <p>③教材や課題プリント等の共有化を図る。</p> <p>④Society 5. 0 時代を踏まえ ICT 機器を活用した授業を推進する。</p> <p>《重点目標》</p> <p>○問題分析集の作成</p> <p>○検証に基づく教科シラバスの改訂</p> <p>○補習補講の充実</p> <p>○教材の共有化</p> <p>○個人データの活用</p>	<p>[数値目標 21]「教え方の工夫」に関する生徒肯定評価90%以上</p> <p>→【A】「教材や教え方の工夫」に関する学校評価アンケートで、生徒の肯定的な回答者数の割合は92.9%で、昨年度の93.6%より微減した。また、教員の回答は97.9%で、昨年度の97.2%より微増した。</p> <p>[数値目標 22]夏期講座、日常的な補習・補講の充実 (目標:夏期講座80以上)</p> <p>→【B】講座の組み方などを工夫し、81講座(昨年度53講座)の夏期講座を開講することができた。</p> <p>[数値目標 23]大学入学共通テストにおける6教科18科目の平均点合計を全国平均合計で300点上回る。</p> <p>→【A】大学入学共通テストの6教科18科目の平均点合計で、問題の難化により、全国平均合計を265.5点上回るにとどまった。</p>
<p>8 三年間を見通した継続的・計画的な指導を通して、主体的に活動する生徒の育成を図るとともに、高い進路希望の実現を図る。</p> <p>《方策》</p> <p>①「学習の手引き」に基づき、計画的な指導を行う。</p> <p>②面談やホームルーム活動等を通して生徒理解に努め、生徒が意欲あふれる学校生活を送れるようにする。</p> <p>③生徒の個人データや学年進路通信、進路ノート等を活用し、進路意識の啓発に努め、高い進路希望の実現を支援する。</p> <p>④探究活動を充実させる。</p> <p>《重点目標》</p> <p>○勉強と特別活動の両立</p> <p>○生活規律の確立と美化意識の向上</p> <p>○生徒理解の研修会の実施</p> <p>○自覚を促す進路指導の充実</p> <p>○「学習の手引き」の活用の一層の促進</p>	<p>[数値目標 24]生徒の入学満足度95%</p> <p>→【A】「入学満足度」に関する学校評価アンケートで、生徒の肯定的な回答者数の割合は、昨年度と同じ96%となった。「文武二道」や「自主自律」の取組を継続することで、魅力ある学校づくりに努める。</p> <p>[数値目標 25]保護者の入学満足度100%</p> <p>→【B】「入学満足度」に関する学校評価アンケートで、保護者の肯定的な回答者数の割合は94.7%で、昨年度とほぼ同じであった。</p> <p>[数値目標 26]1・2年生の自宅学習時間2時間以上</p> <p>→【B】1年生の自宅学習時間は平均で2.18時間であり、昨年度の1.81時間と比較して上昇した。2年生は平均で2.16時間であり、昨年度の1.9時間と比較して上昇した。時差通学が続く中でも授業時間の確保に努め、オンライン学習や課題の出し方の工夫を含めて、生徒の学習時間の確保に努めた。</p> <p>[数値目標 27]遅刻者数の減少</p> <p>→【B】学年での指導や、年間2回の遅刻指導月間の実施により、遅刻者は引き続き減少傾向にある。</p> <p>[数値目標 28]美化に関する生徒の学校評価の向上</p>

<p>○個人データの活用</p>	<p>→【B】「校内美化の取組」に関する学校評価アンケートで、生徒の肯定的な回答者数の割合は53.6%で、昨年度の59%と比較して4%減少した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度も教室のゴミ箱は撤去し、自分のゴミは持ち帰る指導を徹底し、生徒の清掃やゴミの分別などの美化意識の向上を図った。トイレの洋式化などの施設改修を含めて、計画的に学習環境の整備に取り組んでいく。</p>
<p>9 特色ある教育課程のもと教育環境を整備し、生徒の主体的・意欲的な学習態度を育成するとともに、自学自習の習慣の定着を図る</p> <p>《方策》</p> <p>①大学入試改革を見据えた教育課程の見直し</p> <p>②生徒の自学自習の態度を育成する。</p> <p>③進路部と協働して、三年間の生徒の学習実績を検証する。</p> <p>《重点目標》</p> <p>○現行教育課程の成果・検証</p> <p>○学習ガイダンスの実施と「学習の手引き」の改訂</p> <p>○生徒の自学自習を支援する体制の整備</p>	<p>[数値目標 29]年間の授業時数1000時間以上の確保</p> <p>→【B】昨年度は、感染症拡大防止を図る臨時休業などがあったため、1学年990時間、2学年1014時間であったが、曜日を変更して授業を行うなどの工夫により、1学年1003時間、2学年1010時間を確保した。</p> <p>[数値目標 30]将来構想委員会等で成果検証</p> <p>→【B】1・2学年の「総合的な探究の時間」を推進し、探究発表会で成果発表を行った。</p>
<p>10 生徒の高い進路希望を実現するために、進路情報や進路資料を整備し、段階的、系統的な進路指導を実施する。</p> <p>《方策》</p> <p>①進路通信や学年集会等を活用し、進路意識の啓発を図るとともに、緻密にして、系統的な進学指導を行う。</p> <p>②進路指導室の進学指導資料の充実を図る。</p> <p>③学年との連携を図り、進路相談機能を充実する。</p> <p>《重点目標》</p> <p>○蓄積された進路情報の分析と校内への周知</p> <p>○教師用の進路資料の充実</p> <p>○現行の進路指導計画の検証</p> <p>○新たな進路データベースの円滑な運用</p>	<p>[数値目標 31]進路結果の分析会の実施(4回)</p> <p>→【B】引き続き、7月にベネッセ大学入学共通テスト模試分析会(3年)、10月にベネッセ駿台共通テスト模試分析会(3年)、12月にベネッセ総合学力模試分析会(1、2年)、3月に河合塾全統模試(1、2年)・河合塾学びみらい PASS(1、2年)・ケンブリッジ英語検定(1、2年)の結果分析会を開き、生徒の学力の把握と理解に努めた。</p> <p>[数値目標 32]生徒の進路情報・進路指導満足度90%の維持</p> <p>→【B】「進路情報の提供」に関する学校評価アンケートで、生徒の肯定的な回答者数の割合は93%で、2%上昇した。「進路便り」の活用を進めるなどの対策を継続していく必要がある。</p> <p>[数値目標 33]自習室利用の維持、チューター利用の増加 (昨年:自習室3253名、チューター231名)</p> <p>→【B】新型コロナウイルス感染症拡大防止により、ほぼ1年を通じて時差通学(17時30分下校)であったため、教室で自習する生徒は例年と変わらなかったが、西高会館の自習室利用は1805名に減少した。チューター利用者は、昨年同様の230名であった。</p>

<p>11 多様な部活動や学校行事を通して、主体的に取り組む生徒の育成を図るとともに、規律ある学校生活の中で、逞しく生きる生徒の育成を図る。</p> <p>《方策》</p> <p>①活気に溢れる中でも規律ある学校生活をつくり上げる。</p> <p>②行事・部活動等の支援体制を整備し、目的と規律のある特別活動の一層の充実を図る。</p> <p>《重点目標》</p> <p>○真の文武二道に向けた指導体制の確立</p> <p>○規律ある学校生活の確立</p> <p>○目的意識や課題意識のある生徒の育成</p> <p>○進化する学校行事の実践</p>	<p>[数値目標 34]部活動加入率100%</p> <p>→【B】活発な部活動が行われているが、兼部の生徒も含めた部活動・同好会・サークルへの加入率は185%となり、数値目標を達成した。今後も継続して文武二道の完遂を指導する。</p> <p>[数値目標 35]遅刻者数の減少</p> <p>→【B】学年担任からの継続的な指導や年間3回の遅刻指導月間の実施により、今年度の遅刻者数も減少傾向となった。</p> <p>[数値目標 36]遺失物等の減少</p> <p>→【B】生徒の貴重品や私物の管理は、生徒部や学年の指導を通じて改善に努めているが、今後も、ロッカー施錠の励行など、私物管理の徹底などの指導を継続していく。</p> <p>[数値目標 37]学校行事への生徒の取り組みに関する評価90%</p> <p>→【B】「学校行事への取組」に関する学校評価アンケートで、生徒の肯定的な回答者数の割合は昨年度同様の85.8%であった。90%を目指して充実を図っていく。</p>
<p>12 生徒の自己管理能力を育成し、健康で安全を心がける生徒の育成を図る。</p> <p>《方策》</p> <p>①生徒による主体的な活動を支援し、校内の美化や衛生の改善に努める。</p> <p>②スクールカウンセラーらの活用を通して、生命尊重と思いやりの心を育む。</p> <p>《重点目標》</p> <p>○校内美化の徹底</p> <p>○生徒理解の深化</p>	<p>[数値目標 38]美化に関する学校評価を上昇</p> <p>→【B】「校内美化の取組」に関する学校評価アンケートで、生徒の肯定的な回答者数の割合は53.6%で、昨年度の59%と比較して5%減少した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度も教室のゴミ箱は撤去し、自分のゴミは持ち帰る指導を徹底し、生徒の清掃やゴミの分別などの美化意識の向上を図った。トイレの洋式化などの施設改修を含めて、計画的に学習環境の整備に取り組んでいく</p> <p>[数値目標 39]生徒理解の研修会の継続実施(2回)</p> <p>→【B】教員間の生徒情報交換と、SCを含む生徒理解の研修会を実施した。</p> <p>[数値目標 40]スクールカウンセラーとの相談件数の維持</p> <p>→【A】相談は通年行われ、保護者・教員・生徒の相談件数はほぼ昨年度と同数であった。</p>
<p>13 P T A、同窓会をはじめ地域や社会教育と連携することにより学校支援体制を整え、教育環境・条件の改善整備に努める。</p> <p>《方策》</p> <p>①P T Aや同窓会との連携を深め、教育環</p>	<p>[数値目標 41]保護者の入学満足度100%</p> <p>→【B】「入学満足度」に関する学校評価アンケートで、保護者の肯定的な回答者数の割合は94.7%で、昨年度とほぼ同じであった。</p> <p>[数値目標 42]</p> <p>→【B】4回の訪問講義を計画したが、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2回しか実施できなかった。しかし、西高会(同窓</p>

<p>境の整備に努める。</p> <p>②学校運営連絡協議会の円滑な運営を行う。</p> <p>③式典や文化事業の円滑な実施。</p> <p>《重点目標》</p> <p>○PTAや同窓会による生徒への支援活動の円滑な実施</p> <p>○文化事業の工夫</p> <p>○学運協をはじめ外部の意見を校内に周知</p>	<p>会、PTA、教員)の教育支援事業委員会で、生徒の興味関心を高めるテーマ選択、講師選定を行い、感染症予防対策を徹底し、154名の参加者を集めることができた。</p>
<p>14 計画的な予算執行と校内関係部署との連携により、円滑な教育活動を支援するとともに、温かい窓口業務を行う。</p> <p>《方策》</p> <p>①業務内容に応じて、日頃から管理職や関係教員との連携を心がけ、円滑な実施を可能とするとともに、業務の省力化を心がける。</p> <p>②丁寧で温かい窓口業務を行う。</p> <p>《重点目標》</p> <p>○関係部署との連携</p> <p>○業務の効率化、省力化</p> <p>○計画的にして効率的な予算執行</p> <p>○施設の老朽化に対する対応</p>	<p>[数値目標 43]令和4年度予算大綱を10月までに決定 →【A】予算大綱である予算編成指針は、今年度も9月末に決定をした。</p> <p>[数値目標 44]自律推進経営予算の執行を第2四半期終了までに70%を目指す。 →【B】自律推進経営予算の第2四半期終了までの執行率は52%であった。年度末の執行率はほぼ100%となっており、今年度特有のコロナ禍におけるもので、管理職・教員と経営企画室の密接な連携を図り、円滑な業務を継続して行うことで、数値目標の早期達成を目指す。</p>

次年度以降の課題	対 応 策
<p>【学習指導】</p> <p>①新学習指導要領への対応</p> <p>②学習クラウドの活用</p> <p>③ICT 機器の有効活用</p> <p>④成績管理サーバー上の成績処理推奨ファイルの有効活用</p> <p>⑤成績管理ファイルシステムを運用できる人材の育成</p>	<p>【学習指導】</p> <p>①本年度決定した教育課程を具体化していく。</p> <p>②他校の実践例等を参考にしながら、学習クラウドの活用を研究し、実践・普及を図っていく。</p> <p>③教員の相互授業参観や校内研修を通じて、ICT 機器を有効活用した授業改善への取組みを推進する。</p> <p>④学習活動の基礎データの管理・蓄積について進路部の蓄積データと併せて具体的な活用法を開発する。</p> <p>⑤成績管理ファイルを運用できる人材の育成を進める。</p>
<p>【生活指導】</p> <p>①活発で適正な部活動の推進。</p> <p>②遅刻常習者の減少。</p> <p>③交通事故の防止。</p>	<p>【生活指導】</p> <p>①部活動の活性化を目指す一方で、都のガイドラインに基づいて適正な運営を行うとともに、部活動指導員を活用して顧問教員の負担軽減を図る。</p>

<p>④防犯上の安全確保。 ⑤SNS の適切な使用。</p>	<p>②遅刻指導を年3回実施して遅刻常習者の把握と指導を行う。 ③各学年での交通安全指導や自転車保険加入推進などにより交通安全の意識を高め、交通事故を防止する。 ④ロッカー利用の推進や通年の校内巡回などで、防犯体制を維持・強化する。 ⑤ネット上のトラブルの防止に向けて SNS の適切な使用について、情報の授業や安全教室などを通じて指導する。</p>
<p>【進路指導】 ①探究学習の導入に対応した学習クラウドの活用。 ②英語の4技能型外部検定試験の結果分析と活用。 ③チューターの活用。 ④第一志望校を諦めない指導。</p>	<p>【進路指導】 ①学習クラウドの継続利用で、探究学習等での活用に向けた指導法等の研究を進める。 ②すでに英語の4技能型外部検定試験の結果等に基づいて年5回のスピーキングテストを導入しているが、継続して4技能育成の指導を行っていく。 ③科目選択や定期考査前等の時期に、ミニ講座等を開くなどでチューターの一層の活用を図る。 ④卒業生を活用したキャンパスツアーや講演会の実施により、志望大学への理解を深化させて、最後まで第一志望を諦めない進学指導を行う。</p>
<p>【保健美化指導】 ①ゴミの減量化の取組み。 ②美化清掃の改善。 ③教室および廊下ロッカーの上の私物や備品の整理。 ④粗大ゴミ処分。</p>	<p>【保健美化指導】 ①運動会や記念祭でのゴミ減量化をさらに進めるとともに、日常生活でのゴミの持ち帰り、減量化の意識を更に高め、生徒に積極的な実行を促す。 ②生徒の美化意識を向上させるとともに、担任や担当教員が日々指導する。また、分別意識を高める活動を、美化委員会を中心に展開する。 ③生徒の持ち物の管理方法について継続検討する。 ④粗大ゴミの計画的処分を進める。</p>
<p>【学年における指導】 ①肯定的に自己を捉え、自主的かつ臨機応変に活動する力の育成。 ②1・2年次での確実な学力定着と3年次での読解力・記述力の育成。</p>	<p>【学年における指導】 ①本校で実施される講演会や訪問講義などの体験活動への自主的参加・体験を促し、またその取組成果を生徒が共有できるように工夫する。 ②補習や講習の実施により、苦手科目を作らせない学習指導を行う。記述模試や思考力テストの活用と検証を進める。</p>
<p>【防災教育】 ①今年度から実施の「地域と連携した防災体験活動」において、講話や体験活動内容・避難訓練の実施形態など、次年度に向けて計画していく。</p>	<p>【防災教育】 ①地域・諸機関・該当学年と相談し、「地域と連携した防災訓練」の実施計画を策定する。</p>